

第6学年 道徳学習指導略案

日 時 令和4年11月5日(土)第2校時
 指導学級 興本扇学園足立区立興本小学校
 指導者 1組 37名 指導者 望月 康正
 2組 38名 指導者 根本 絵奈

- 1 主題名 分かり合う喜び
 2 教材名 「ブランコ乗りとピエロ」
 3 本時のねらい 「自分だけが正しい」と思わずに、相手の思いや考えを理解し、尊重していくことの大切さが分かり、自分とは意見や立場が異なる人に対しても、謙虚な心で接していこうとする心情を育てる。

4 本時の展開

	学習活動	主な発問 (○) と予想される児童の反応 (●)	指導上の留意点
導入	1 学習課題を設定する	○他人と意見が対立したことはありますか。 それはどんな場面ですか。 ●授業で話し合うとき。 ●何して遊ぶかを話し合うとき。	●主題にせまられるよう、自分の経験を振り返り自由に発表させる。
展開	2 「ブランコ乗りとピエロ」を読んで考え、話し合う	○「自分は正しい」と互いに思っている二人にはどのような言い分があるのでしょうか。 (ピエロ) ●サム一人だけが目立つな。 ●サーカス団のルールは守れ。 (サム) ●スターが目立つのは当然だ。 ●お客は喜んで大成功じゃないか。 ○自分だったらサムのことを許せるでしょうか。 ●自分勝手にみんなの気持ちを考えていないから許せない。 ●サム的一生懸命な姿を見て、サムが夢中でやっていたことが分かったから許せる。 ●サムがサーカス団のためにがんばっていることは分かるけど、みんなに謝ることもしなかったからもやもやした気持ちが残る。	●ピエロに共感的な発言に偏った場合は、観客の立場にも思いをはせて、サムの存在を考えられるようにする。 ●許せるか許せないかははっきりさせるのではなく、微妙な思いも表せるように円グラフで気持ちを表現させる。 ●考えをグループで交流させたあと全体で共有することで、多くの考えに触れられるようにする。
	3 自分のこととして考える	○自分と考え方の違う友達と付き合うとき、何を大切にしますか。	●ジャムボードに入力し、考えを全体で共有させる。
終末	4 本時の学習を振り返る	○本時で学習したことを振り返り、道徳ノートに書きましょう。	

- 5 評価 ●ピエロの言葉を受け止め、自分を重ね、考えを深めていたか。
 ●相手の意見や立場を尊重することの大切さについて、自分と結びつけて考えていたか。